

会員数 59名 出席者42名・欠席者14名・免除会員8名  
欠席者 麻田・後藤・和泉享・増田・松山・加内・中野昌・齋賀・曾川・高岡  
大山・谷本・山下・山本由一会員

前々回出席率 75%(9/1)

## MARUGAME ROTARY CLUB WEEKLY

会 長 和泉 清憲  
幹 事 細谷 誠  
会報委員長 大西 信亮

## お知らせ

## 9月のプログラム

- 1 (No.1)-クラブフォーラム
- 8 (No.2)-クラブフォーラム
- 15 (No.3)-米山奨学生卓話
- 22 (No.4)-客話
- 29 (No.5)-10/1へ例会変更

## ニコニコBOX;

ナターシャさんのコンサート無事に  
終わりました。ご協力ありがとう  
ございました

秋山憲夫君 和泉君

ナターシャさんのコンサートお手伝い  
頂きありがとうございました

岡田君

ナターシャさんの美しいお顔、声に  
うっとりでした

福田君

<ニコニコ会計累積/¥122,000>

## がんばるBOX;

早退します

東原君 秋山恒君

チケットを郵送頂いたのを昨日  
気づきました。すみません。

飯間君

<がんばる会計累積/¥62,000>

例会場・事務局

丸亀市塩飽町50-3 丸亀プラザホテル内

## ■会長挨拶

先週17日に高松でクラブ活性化セミナーが開催され、幹事と研修リーダーである齋賀さんの3名で参加してまいりました。研修はクラブの活性化、会員増強、公共イメージ向上の3つのテーマで、公共イメージ向上は、来月24日に迎える世界ポリオデーに合わせたイベント、八十八か所ポリオ根絶祈願について主に説明がされました。

ポリオ根絶祈願につきましては、地区からの要請に応じ、当クラブでは10月22日に道隆寺において行う予定にしております。また東クラブは郷照寺にて行うようです。会員増強に関しましては、従来と同じにはなりますが、女性会員と若年層の会員獲得の必要性についてのお話でした。

クラブの活性化に関しては、DEI(多様性、公平性、インクルージョン)についてのお話でした。インクルージョンとは、多様な人々がお互いに個性や価値観、考え方を認め合い、一体感を持って働いている状態 だそうです。活性化や会員増強を行っていく上で不可欠なのは、「変化」であり、多様性を受け入れ、これがすなわち公平性を示し、開放性を示すことになると思います。

丸亀ロータリークラブはどうか？

変化を感じ取り、拒絶せず、恐れず受け入れられているのか？

変化をあきらめたり、疑ったりしてはいないのか？

従来を踏襲し守ることより大切なものもあるのではないのか？

守るべきものを守れているのか？守るがために閉鎖的になってはしないか？

自分の考えだけにとらわれず、広く意見を聞き、機会を設け取り入れられているのだろうか？

コロナという嵐の中で、過ぎ去るのを耐えて待つクラブと、嵐の中で立ち、変化であると受け入れたクラブと大きく二分されたとのことです。自分が好むと好まざるに関係なく変化は常に途切れることはありません。活性化セミナーに参加して、他クラブの方と何か話す機会や意見を交わす場面があるわけでもなく、何故一クラブ最大5名の人が集まらないといけないのか、地区で74クラブですから300人以上です。高知中村からは遠いでしょう。便利なZOOM等のツールを何故使わないのか、とても変化を受け入れているように感じないのですが、いかがでしょうか？もしツールを使えるかどうか問題なら、それもまた多様性ですから受け入れるべきです。活性化セミナーに参加した齋賀会員のお話ですと、このままのクラブ数や会員数の減少が続くと、50年後にはロータリークラブはなくなってしまうとのことです。地域にクラブの活動を認めてもらい続けることが何より必要です。それは職業奉仕という視点からも同じことです。

すでに報告済みですが、夏見ガバナートミーよりご提案のありました「Fire Side Meeting」を11月より行います。近い入会年度の方をグループに分けさせていただき、ご案内を差し上げます。先ほどの話で必要性はご理解いただけたと思いますので、必ずご出席いただけますようお願いいたします。

## ■幹事報告

①丸亀市よりの依頼として、瀬戸内国際芸術祭秋会期 本島でのボランティア  
サポーター「こえび隊」募集と説明会の開催について

②ナターシャさんのコンサート前売りチケットの精算について

## ■例会事業;米山奨学生卓話;吳奕鑾様

中華人民共和国黒竜江省ハルビン市の阿城について  
唐代以降、阿城は女真族(じょしんぞく)(現満民族)の居住地となりました。

(裏へ続く)



そして、北宋末期、北宋を侵攻していた少数民族の遼に過酷に搾取されたことにより、1114年に女真族の完顔部(わんやんぶ)の族長である完顔阿骨打(わんやんあくだ)が反乱を起こし、遼を撃退しました。それを機に、完顔阿骨打は金を建国し、現阿城を中心に上京会寧府を首都として設けました。四代を経て北京へ遷都したが、そこで金に関する遺跡がほとんど残ることがなく、阿城は金朝の遺跡を比較的の良い状態で保存される唯一の場所となりました。

- ・工業と農業分野が発達していました。
- ・阿城継電気会社はアジアで最大の送電設備を製造する企業の一でした。
- ・阿城糖場(製糖所)は立ち上げから中国最大の甜菜製糖所でした。
- ・産業の転換を積極的に促進し、旅行と文化都市への転身に取り組んでいます。
- ・豊かな自然景観を利用し観光客を引きつける一方、「金朝の源」という意味を含めた「金源文化」をテーマにした文化的景観の開発に注力しています。
- ・「万達広場」などの投資プロジェクトを誘致し、経済活性化を図っています。

現在大学で研究していることは、「中国における日系コンビニの国際フランチャイジングについて(ローソンを事例に)」です。中国のコンビニ業界の状況ですが、2021年中国コンビニ業界の発展報告によれば、コロナ禍の影響に及ばず、コンビニ業界の売上高は増加する傾向が続いています。一方、実店舗小売業の中に、コンビニ業界全体の売上高の増加率が減速していますが、他の小売業界と比べて高いスピードが保っており、大きな成長余地があると見込まれています。

- ・日系コンビニの大手三社(セブンイレブン、ファミリーマート、ローソン)は中国に進出して久しいが、全体の事業発展は順調に実現できませんでした。(章、2017)。
- ・その中で、ローソンは三社の中で最も中国に早く進出(1996年)していましたが、長年にわたり事業停滞に陥り、後進者のセブンイレブン(2004年)とファミリーマート(2004年)に次々に追い越されました。
- ・しかし、2016年以降、ローソンは急激に店舗を拡大し、2020年までに4000店以上を出店し、日系コンビニの中でトップとなりました。同年、ローソンは日系コンビニの中で唯一全面的に黒字に転換した会社となりました。(2022年、5000店超)ローソンの急拡大は独自のフランチャイズ・システムの取り入れに関わっています。本研究の目的は、ローソンの国際フランチャイジングという参入方法に焦点を当て、なぜ中国においてローソンが急激に店舗拡大できたのかを明らかにすることです。

#### ■会員自己紹介

高岡 仁(たかおかひとし)会員

会社名: 有限会社スタジオ仁

事業内容: 写真撮影、学校アルバム製作等

昭和53年11月城西町で開業し、44年目を迎えています。

(好きな言葉) やるだけやったらそれでいい

